大手前新聞

創刊
2018年(平成30年)
佐伯市役所
文化芸術交流課
☎0972-22-4623

市民の想いをかたちに

私たちの軌跡2013～2020

◆管理運営実施計画検討会議

◆開館準備検討会議

◆さいき城山桜ホール運営委員会

◆開館プレイベント

◆管理運営実施計画市民ワークショップ

◆諸室ヒアリング

◆高校生部会

◆市民会議

開催中止

4月5日に開催を予定していた「さいき伝統文化の祭典」は、新型コロナウイルスの感染拡大、また大分県でも感染者が確認されたことを受け、佐伯市新型コロナウイルス感染症対策本部等で協議した結果を基に、参加者及び関係者の安全を最優先に考え、中止することを決定いたしました。

あの空コンサート

大道芸フェスタ

まちなかユース文化祭

らすてつす変完が広了開の開ま　たで手くい新たなめを市生前手度
始まいな゜わ成建場い館さ発が長　゜歩前さ、しいにま得民部開前歩２
まちくぎ人るしちがたにいは待い　み開んたい、ぎしなの会発開み０
りづ゜、がのま、整しよき、ち間　を発のくまこわたが皆の市発を１
まく私そ集はすま備まり城本望、　進事願さちれい゜らさ発民事止３
すりたしいこがちさす、山年ん市　め業いんをまを以再ま足会業め年
゜はちて、れ、のれ゜事桜10だ民　てはとのつで取前びのに議はて10
こが広賑かま整、道業ホ月大の　き今共人くにりの動ごよ・、い月、
こ目がわらち備建路を131手皆　ま日にのりな戻よき協り高大た、
か指いでがは物や完ル日前さ　しま大たたいしう始力、校手大一

佐伯がいちばん！

福岡大学工学部
社会デザイン工学科
景観まちづくり研究室
教授　柴田　久

皆　前と用す力否└る伯所ト　た末最い発長はｉこた議さ各たのにし市数30かお└　実参た策　なに画いもし開方岡
さ今の思しるやかで場ブ└は市　゜の終て計に基年う打前な課め円話ま民を名にらと現加゜定まおなのま覚た発々大２
んこ┐い、市運はし所ラ┐┐民　オ案も画提本弱しちにがを研滑しし参、程一れいです事にず仕り全すえい計が学０
のそさま使民営┐た└ン多い会　ｉを、の出計のた合司ら超究な合た加応を生、っきる業向、事ま体がてん画来にｉ
手佐いすいののさ゜┐ド様つ議　プ考市よさ画間協わ会のえ室作う゜に募予懸またる市をけ初ですコ、いでをらあ３
で伯き゜倒皆仕いこまのなでで　ンえ民りれ策に力せ進予ての業際無対の定命ず疑の民作ためし゜ｉ以ますもれる年
゜の城多しさ方きのち発世も話　ま、ヒ詳ま定計体を行行若メがの論すあしだは念かのり市にた正デ来す└う、私の
再山くてんも城コの信代気し　でエア細しに８制ほ役演手ン課司こるってついや└皆直民苦（直ィ、゜と一┐の夏
起桜のいがさ山ンス拠が楽合　あ事リなた向回をぼの習職バ題会の姿たいたか不┐さす会労苦なネ私ご熱度白研だ
動ホ人くいる桜セト点集にわ　ともン基゜け開も毎方を員ｉと進こ勢76た気に信まんと議し笑とｉは存く市紙究っ
（ｉ達かかこホプッ└ま集れ　数着グ本そた催と回々行にはな行とを名市がそ感たの言のた）こタこじ語民に室た
さルがににとｉトク┐れまた　か々を設の構さに行だうお勿り役で表全民しれを撤中っ設の゜ろｉののらとなにと
い└携かこなルがを暮るれ基　月と実計後想れ、っけな願論まのグ明員会まをお回にて立は、を大方れ一っ佐思
き゜わかのが└実生ら場る本　と進施の、案、市てをどい、し確ルすと議す払持すはもと、本務手もた緒た伯い
ど　っっ場ら自現かし所憩コ　なみし段大とそ民い対、し市た保ｉるしの゜拭ちる┐、運基当め前多のに大市ま
う　たて所、体すすを└いン　り、な階手しの会ま象市、役゜とプこ、参当でのの本会営本にる開いを作手役す
）を　大いを利のる場支┐のセ　ま10がに前て成議しと民本所そ当ごと市加初き方で当議で計大こ発と今り前所゜
　手る活用魅か所え佐場プ　し月らお開市果はたし会番のの日とにの者はるもはにに画変と計思で直のの福

育み広げる佐伯の光

つがや私
まこ緒向こたりとをれ
すとにけの゜を一見ま市な周がた大
゜を歩てまこ行緒なで民がりてち手
願い皆ちれっにが、会っにその前
ってさのかてまらそ議てもの手で
て行ま未らきち皆んかい広賑で始
おけと来ままづさならくがわ育め、
りる一にたしくま夢こ゜りいて、

時使だ会エしら陰の前
間いけ場やたいで広にさ
を方まとお日のの場はい
おをすし祭常場読を、き
過探゜てりにな書整緑城
ごし自もな加どや備が山
して分ごどえの仲し美桜
く有に利イ、ん間ましホ
だ意合用ベマびとすいー
さ義っいンルりの゜憩ル
いなたたトシと語木いの
。

私の夢

写真はイメージです

僕の時間

さいき城山桜ホール

SAIKI SHIROYAMASAKURA HALL

完成予想図

可能性は無限大？

大手前に、今まで佐伯には無かった新しい施設が誕生します。皆さまの見たい・始めたい・やりたい・応援します。

私の日、私の場所

にあき館交機ス民て議小は、
ごり る内流能ペ団・室を、さ
利、フに施をｉ体子、始多い
用どリは設備スが育食め目き
いなｉ自でえな活ち育ス的城
たたス由すたど動支活タホ山
だでペに゜複、を援動ジｉ桜
けもｉ利ま合様行室やオルホ
ま気ス用た文々え、子や大ｉ
す軽もで、化なる市育会・ル
。

編集後記

子どものころ、このまちでは夏の風物詩の一つとして「土曜夜市」が行われていました。このころの子どもたちには土曜日の夜は特別で、大好きな8時からのTV番組を毎週楽しみにしていました。TVか、夜市か、葛藤の末選択したのは土曜夜市。TVに別れを告げて、さあ、夜のまちに繰り出そう（保護者同伴）。まずは仲町から入り、人混みをかき分けながらゆっくり進んで夏の夜を満喫する。通りには自分と同じくらいの歳の子や知り合いのおじさん、あっ仲の良い友達を見つけた！夜会うとなんか嬉しい。やっぱり来てよかった。友達と別れ、歩を進めると、いよいよ終わりが近づいてくる。一瞬寂しさに襲われるが、すぐに気分が上昇する。アーケードの向こうに見えるは悠然とそびえたつ寿屋。まだまだ終わらない。少年時代、夏の夜の思い出です。

寿屋（昭和の時代）

仲町（昭和の時代）

これまで大手前開発にはたくさんの方が関わり協力してくださいました。形はそれぞれ違っても、このまちの再興を強く願う想いに後押しされてここまで進むことができました。ご協力くださった皆さま、本当にありがとうございました。10月31日のさいき城山桜ホールのオープニングセレモニーでお会いできることを願っております。

市民の皆さまに大手前開発事業についてお伝えするため、2018年7月から本紙を発刊してまいりましたが、今号をもちまして終刊いたします。ご愛読くださりありがとうございました。今後は、会館だより（名称未定）を発行し、ホールの催しなどに関し広報していく予定です。これまでの皆さまとのご縁と、これから生まれるご縁が広がっていくことを願っています、このまちで。

【編集】
工藤裕樹
竹中大輔